

設立趣意書

我がまち、我がふるさと小城市芦刈町は、小城市の最南端に位置し、日本一の海苔の生産を誇る有明海を有し、漁業をはじめ、農業の盛んなまちです。

合併して早 20 年を迎えようとしている中で、産業はもちろんのこと、観光面においても世界で唯一のムツゴロウとシオマネキの保護区を設け、保護区内には干潟体験場や親子での自然・ふれあいの場として、オートキャンプ場が整備され、春先になりますと周辺のムツゴロウ公園等は桜に彩られ、子供たちの声で賑わいをみせています。

また、2024 年 10 月には芦刈文化体育館が、国民スポーツ大会バレーボール及びハンドボールの主会場となり、県内外多くの方々が芦刈町を訪れられ、賑わいと活気がみなぎる時期を迎え、おもてなし等迎える側として意識も高めていく必要があります。

そのような中で、社会全体の諸課題の進展と同様に小城市芦刈町においても高齢化や人口減少が急速に進み、令和 3 年 4 月に過疎指定を受けました。

今後は、その現状を真摯に受け止め、先人たちが築かれてきた想いや取組を大事に、そして継承しながらも、新たな気持ちでまちづくりに取り組む必要があります。

「未来の子供たちのために」という想いを胸に、この度あしかりまちづくり協議会設立準備会を設立することと致しました。

皆様におかれましては、この想いをご理解いただき、設立及び今後の活動につきまして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 1 月 27 日

あしかりまちづくり協議会設立準備会